

信長・秀吉の全国統一

1 / 1

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

今日の問い

織田信長と豊臣秀吉は、どのようにして全国統一を進めたのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 織田信長の統一事業

信長の統一事業

織田信長

尾張の戦国大名。室町幕府を
ほろぼした。

楽市・楽座

商工業者が自由に商売できる
ようにした政策。

長篠の戦い

1575年、信長が鉄砲を大量に
使い武田軍を破った戦い。

尾張(愛知県)の戦国大名**織田信長**は、1560年の**桶狭間の戦い**で今川義元を破って勢力を
広げた。1568年には足利義昭を立てて京都に入り、将軍にしたが、のちに対立したため、1573
年に義昭を京都から追放して**室町幕府**をほろぼした。1575年の**長篠の戦い**では、鉄砲を大量に
使って武田軍を破った。

信長は琵琶湖のほとりの**安土城**を拠点とし、城下で**楽市・楽座**を行い、関所を廃止して商工
業をさかんにした。比叡山延暦寺や一向一揆など、従わない仏教勢力をおさえる一方、キリスト
教は保護した。しかし1582年、家臣の**明智光秀**にそむかれ、京都の本能寺で自害した(**本能寺
の変**)。

2 豊臣秀吉の全国統一

秀吉の統一事業

豊臣秀吉

信長の後継者。1590年に全国
統一を完成させた。

太閤検地

秀吉が全国で行った、田畑の
面積や収穫量の調査。

刀狩

1588年、秀吉が農民などから
武器を取り上げた政策。

信長の家臣だった**豊臣秀吉**は、明智光秀を倒して信長の後継者となった。**大阪城**(大坂城)を
築いて拠点とし、1585年には朝廷から**関白**に任じられ、翌年には太政大臣にもなって、朝廷の
権威も利用しながら各地の大名を従えた。1590年には小田原の**北条氏**をほろぼし、全国統一を
完成させた。

秀吉は、全国で田畑の面積や収穫量を調べる**太閤検地**を行い、土地の生産力を**石高**で表し
た。耕作する農民を**検地帳**に登録して、田畑を耕す権利を認めるかわりに年貢を納める義務を
負わせ、年貢を確実に取れるようにした。これにより、荘園のしくみは完全になくなった。

1588年には、一揆を防ぎ、農民を耕作に専念させるため、**刀狩**で農民から刀や鉄砲などの武
器を取り上げた。こうして、武士と農民の身分が分かれる**兵農分離**が進んだ。

人物	おもな政策
織田信長	楽市・楽座、関所の廃止、仏教勢力をおさえる
豊臣秀吉	太閤検地、刀狩 → 兵農分離が進む

問いへの答え

織田信長は、鉄砲を活用した長篠の戦いなどで勢力を広げ、室町幕府をほろぼした。安土城の城下で楽市・楽座を行
って商工業をさかんにしたが、本能寺の変で倒れた。後を継いだ豊臣秀吉は、1590年に全国統一を完成させた。太
閤検地で年貢を確実に取り、刀狩で農民から武器を取り上げて、武士と農民の身分を分ける兵農分離を進めた。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

